

【春期キリスト教教育強調週間】

予告してありましたように、本日の礼拝は、標題の週間として講師に金井創牧師（沖縄・佐敷教会主任、沖縄キリスト教学院平和研究所コーディネーター）をお招きいたしました。北海道出身の金井牧師が、沖縄に赴任され「平和運動」と関わってこられた経験の中から、メッセージを携えてお出でくださいました。かつて10年間、明治学院教会の牧師として活動されたこともあり、学生たちと関わる経験も豊富な先生です。今回与えられた機会に感謝します。

礼拝後、2階集会室にて茶話会もあります。自由参加ですが、講師との交流の機会として積極的に参加してください。

【酪農讃歌考】

本日の聖歌隊による賛美は、故・賀川豊彦・純基親子の作詞作曲による「酪農讃歌」です。本学の校歌のように式典等でも歌われます。歌詞の最後に「乳房持つ神」という表現があり、酪農学園で歌う場合にはこの「神」が「乳牛」と結びつく懸念があります。以前、賀川豊彦のお孫さんに当たる故・督明氏（当時賀川記念館館長）が本学で講演した際に、家庭的に恵まれなかった豊彦氏の「母に抱かれるような信頼を神への信仰に見出した安らぎの表現ではないか」と触れていました。旧約聖書イザヤ書66章13節には「母がその子を慰めるように、わたしはあなたたちを慰める」という言葉もあります。「神」は性に左右されないのですが「父なる神」と祈ります。「父性・母性」について考えると共に、乳牛を神として祀っているのではないことを確認しておきます。（宗教主任）

【聖歌隊へのお誘い】

大学礼拝では、聖歌隊の合唱による賛美をプログラムしています。2週間ごとに曲が変わります。どなたでも参加できます。斉唱のみでなく、合唱で賛美をする楽しさは、世界を広げます。礼拝後、オルガン前に集合してください。

【次回の礼拝】

次回5月31日の礼拝奨励は、榮忍宗教主任が担当します。

【5月17日の出席者】 学生 659名 教職員他 12名 計 671名

【大学礼拝週報】 2016年度 第5号（前学期第5号）

2016年5月24日（火）午前10時40分

酪農学園大学 黒澤記念講堂

春期キリスト教教育強調週間

《大学礼拝》

司 式 榮 忍（宗教主任）

奏 楽 佐藤理恵（野幌教会員）

讃美指導 相原晴伴（循環農学類教員）

前 奏 「勝利なる君、ほまれなる王」（ボルンゲッサー作曲）

さんび 讃美歌 2編19（もろびと声あわせて）

聖 書 ローマの信徒への手紙5章1～5節

祈 り

さんび 酪農学園大学聖歌隊

奨 励 「希望を捨てず」

祈 り 金 井 創（沖縄・佐敷教会牧師）

さんび 讃美歌21 471（勝利をのぞみ）

報 告

後 奏 「主なる神よ、我らは皆汝を讃えまつる」（ヘンニヒ作曲）

【本日の聖書】 ローマの信徒への手紙5章1～5節

¹このように、わたしたちは信仰によって義とされたのだから、わたしたちの主イエス・キリストによって神との間に平和を得ており、²このキリストのお陰で、今の恵みに信仰によって導き入れられ、神の栄光にあずかる希望を誇りにしています。³そればかりでなく、苦難をも誇りとしめます。わたしたちは知っているのです、苦難は忍耐を、⁴忍耐は練達を、練達は希望を生むということを。⁵希望はわたしたちを欺くことはありません。わたしたちに与えられた聖霊によって、神の愛がわたしたちの心に注がれているからです。